



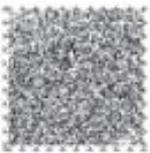
片付けでできる防災

いつもの片付け習慣が安全をつくる。

部屋の中の物を減らす。散らかったら片付ける。そんな当たり前のことが、実は家の中の安全性を高めます。できることから少しずつ。普段の片付けは、危険から身を守る第一歩です。

体験VOICE
部屋のドアが移動した家具にふさがれて、開かなくなりました。
(40代/東日本大震災)

体験VOICE
テレビやタンスの引き出しが飛びました。
(70代/熊本地震)



33 音声コード掲載

第1章 はじめよう、たすかる暮らし方 32



07

行けるときに、
トイレは
済ませておく
《→詳しくはp.25》

生理用品は、
もう一周期分
買っておく
《→詳しくはp.22》



08

09



災害時の
集合場所を
決めておく
《→詳しくはp.88》



01

外出先では
非常口を確認
《→詳しくはp.20》

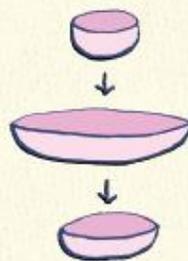


02

カーテンは
閉めて寝る
《→詳しくはp.30》

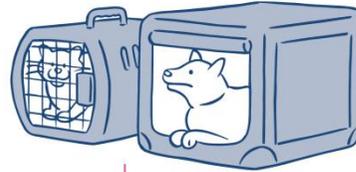
03

食器の
重ね方を
変えてみる
《→詳しくはp.35》

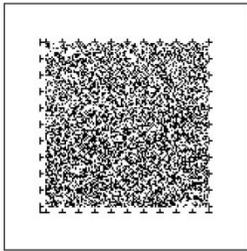




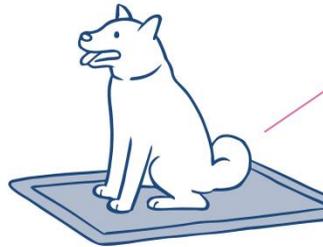
人や動物を怖がったり、攻撃的にならないようにする。



普段からケージやキャリーバッグに慣らしておく。



157 音声コード掲載



不特定多数の人が共同で暮らす避難所では、どこで、誰が話を聞いているかわかりません。トラブルを避けるため、お金や聞かれたくない個人情報の話は離れた場所でするなどの注意をしましょう。

他人の前では、お金などの話をしないように注意

体験VOICE

はじめにいた避難所でも、移動した避難所でも盗難の被害にあいました。
(50代/熊本地震)



※この資料上の音声コードは、拡大等行っているため、読み取りできません。